

理事通信

No. 3

発行：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東京都新宿区四谷本塩町 2-11 URL: <https://ys-east.or.jp/>



理事メッセージ「サポートファンド、応援に心から感謝。」

2024-2025 年度 東日本区理事 山田 公平

サポートファンド 大きな応援に感謝

会員の減少（昨年度7月1日は726人、今年度7月1日は663人）、昨年度は4つのクラブ（茨城、東京ベイサイド、東京世田谷、横浜とつか）の解散。この5年間の東日本区の一般会計も赤字の連続で、6年前には1000万円あった繰越額が200万円弱となり、区の会計は、危機的なところに来ています。今年をサポートファンドは、大口献金もあり、現段階で41件協力で、280万円を超えました。今後の区の在り方に変化を起こすために大きな意味でサポートファンドに助けられたという感覚です。

そこで今年は、しっかり将来の方向を見据えていく必要があります。未来のワイズの方向を見極め、それを実行に移す体力を取り戻す年になると考えています。ユースアクションもその一つですが、外部からの助成金も得る努力を強めてワイズメンズクラブの活動の意義を社会にアピールできるようにしたいのです。ワイズの運営基盤を強めていく1年にしましょう。

INDEX

- ・理事メッセージ（サポートファンド）…………… 1
- ・理事が求めるワイズの姿…………… 2
- ・東日本区で行われているユースアクション…………… 2
- ・特記すべきニュース…………… 3
- ・部大会の様子…………… 3
- ・今後の予定、入会者、献金者一覧…………… 5

10 月末時点でのサポートファンド協力者（時系列）

サポートファンド献金 <クラブ名>							
1	東京世田谷クラブ	2	もりおかクラブ	3	東京サンライズクラブ	4	東京たんぼぼクラブ
5	甲府 21 クラブ	6	石巻広域クラブ	7	東京西クラブ	8	富士クラブ
9	埼玉クラブ	10	那須クラブ	11	松本クラブ	12	千葉クラブ
13	千葉ウエストクラブ						
サポートファンド献金 <個人献金名>							
1	小原武夫(東京世田谷)	2	倉石 昇 (千葉)	3	鈴木伊知郎(宇都宮東)	4	大和田浩二 (松本)
5	清水 真一 (大阪茨木)	6	藤井寛敏 (東京江東)	7	大久保知宏(宇都宮)	8	栗本治郎 (熱海)
9	山下 真 (十勝)	10	柴田伸俊 (札幌)	11	利根川恵子 (川越)	12	田中博之(東京多摩スマイル)
13	山田公平 (宇都宮)	14	小林 隆 (熱海グロリー)	15	相磯優子 (沼津)	16	伏木 康 (札幌)
17	中村義春 (十勝)	18	徐 鍾錫(東京センテアル)	19	匿名希望	20	石田信正 (石巻広域)
21	匿名希望	22	今井武彦 (東京むかで)	23	吉崎 勇(千葉ウエスト)	24	加藤重雄 (仙台青葉城)
25	赤澤睦子 (松本)	26	廣田光司 (千葉)	27	山口直樹 (東京武蔵野多摩)	28	佐藤重良 (甲府 21)

以上合計 41 件、2,826,000 円

応援いただき、お礼申し上げます。

理事が求めるワイズの姿

ユースのエンパワメントにつながる一連の働きを通して、「ワイズとは、全国各地でそんな試みを行っている団体」というようなイメージを作り上げていきたいと考えています。今年の主題は、「ワイズの方向性を見極める」としました。ワイズが、それぞれの地でユースとの接点を持ち、YMCA と共に、あるいは YMCA のない所でもこの運動を拡げていけたら、応援したいという人たちが集まるワイズになっていくと信じています。

今年の YVLF (Youth Volunteer Leaders ' Forum)は 9 月 6-8 日に東京 YMCA 山中湖センターで行われました。今年度の基調講演は、熊本 YMCA で不登校児の居場所 (プラットフォーム) を始めた伊藤眞太郎さん (次期総主事になるそうです) が不登校児へ関心を寄せるユースによる運動をテーマに話し合いました。丁度タイミングよく、不登校児への対応プログラム助成金が、TOF (Time of Fast) というワイズ国際プロジェクトへ与えられることになりました。不登校児支援活動を東日本区内の 3 拠点で行うための資金となります。2025 年 1 月から 3 年継続して立ち上げる不登校児支援プロジェクトに 15,000 スイスフランの支援金が認められました。日本円にして 255 万円になります。

今年度、東日本区で行われている 7 つのユースアクションを応援してください。

札幌 YMCA の Goods Drive : いらなくなったスキー用品などを安く販売

盛岡 YMCA の人権カルタの活用によって人権意識を向上、地元弁護士会が協力

川越 YMCA グローバークラブ : 障害や不登校などの子どもたちを交えた地元での活動展開

東京 YMCA 南センター : 外国にルーツのある子どもたちとの多文化交流活動

山梨 YMCA 銀河鉄道キャンプ場 : ユースリーダーとワイズの交流をしながらキャンプ場作り

長野・松本地域ユース for 能登 : 留学生を中心に地元大学生とワイズが能登への支援活動展開

中央大学 Y : 外国にルーツのある子どもたちとの多文化交流活動 (川口市と協力)

これらの活動は、今年一杯行われているので、ぜひ活動現場を応援するか、可能ならワイズの例会に招いて報告を聴いて下さい。

特記すべきニュース：

1. 湘南沖縄部に新しいクラブが誕生します。神奈川県大和市を拠点としたクラブで、8人のクラブでスタートします。チャーターナイトは11月24日（日）13-16時に大和駅近くの北京飯店で実施。新しいクラブを励ますために参加してください。
2. 2025年8月には、第27回アジア太平洋地域大会が熊本で行われます。目標は、900名ということで多くの参加を東日本区からも期待されています。同時期に行われるAYC（Area Youth Convocation）も熊本YMCAキャンプ場で行われ、東日本区からも多くのユースを送り出したいと考えています。
3. 今年のBF代表として東京多摩スマイルクラブの為我井さんがネパールに行くことになりました。有意義な経験となりますように。
4. 国際協会からの連絡で、新しい国際憲法が決められましたが、東日本区と関連する部分で二つのお知らせがあります。一つは、少人数のクラブが多くなりつつある中で、国際協会としては、クラブ存続の条件として人数は5人以上であることとなりました。さらに、これまでは14人以下のクラブでも特別申請をすれば投票権を得られました（東日本区では全52クラブの内、15クラブに投票権が与えられ、14人以下5人以上のクラブでも国際会費を払い、25年以上存続しているクラブには申請すれば投票権を与えられており、今年度は26クラブが投票できました。新しい国際規定によると今後は、3年間まで投票を認められるということになりました。少人数クラブへ努力してグッドスタンディング（15人以上）のクラブを奨励するためと思われます。
5. 今年度のIYC（International Youth Convocation）は、中東にあるドバイ（UAE）で11月5日から10日まで行われます。東日本区からは2名が参加します。ユース事業委員会で選考をし、その結果、中央大学YMCAのメンバーである岩崎葵さんと慶応大学3年生の下山夏央さん、2人が参加をします。来年行われる熊本でのAYC（Area Youth Convocation）にもつながるような取り組みを期待しています。

各地で部大会が行われ、ブースター賞などの授賞式が行われました。





今後の予定

11/5-10	IYC(ドバイ)	12/7	部長・主任研修会(ズーム)
11/9	第二回役員会(ズーム)	1/10	後期半年報提出(クラブから部へ)
11/24	(仮)大和クリエイティブ Yサービスクラブチャーターナイト	2/15	後期区費支払い・各献金納期
		3/9-10	次期会長・部役員研修会(東山荘)

入会者一覧

2024年9月・10月

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
10月1日	富士山部	熱海グローリー	陣内 康策	勝又隆吉

JEF 献金

2024年9月・10月

献金日	献金者	クラブ	金額	献金趣旨
9月27日	長谷川 等	沼津	10,000	77歳を無事迎えられることができ、健康に感謝して。
10月10日	伊藤 幾夫	東京多摩スマイル	17,500	故城田教寛ワイズのご冥福をお祈りいたします。
10月10日	田中 博之	東京多摩スマイル	17,500	故城田教寛ワイズのご冥福をお祈りいたします。
10月22日	東京サンライズ	東京サンライズ	30,000	故小山憲彦ワイズのご冥福をお祈りいたします。
10月28日	小林 隆	熱海グローリー	10,000	熱海グローリークラブ 40周年を記念して。